

中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（平成29年4月～6月期実績、平成29年7月～9月期見通し）

1 県内商工会地区における産業全体景況

2期ぶりにすべての指標が好転

今期の産業全体の景況は、売上額D Iが $\Delta 9.1$ 、採算D Iが $\Delta 15.7$ 、資金繰りD Iが $\Delta 2.8$ となり、対前期比でそれぞれ15.3ポイント、4.7ポイント、11.4ポイント改善し、すべての指標が好転した。特に、売上額D I、資金繰りD Iが2ケタのプラスとなった。

次期は、すべての指標が悪化に転じるが、マイナスは小幅にとどまる見通しである。業種別では、小売業を除く3業種ともすべての指標が好転、上昇した。

産業全体の主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I $\Delta 9.1$ （対前期比 15.3 好転） 次期予想 $\Delta 13.5$ （対前期比 $\Delta 4.4$ 悪化）
- ・採算D I $\Delta 15.7$ （対前期比 4.7 好転） 次期予想 $\Delta 16.4$ （対前期比 $\Delta 0.7$ 悪化）
- ・資金繰りD I $\Delta 2.8$ （対前期比 11.4 好転） 次期予想 $\Delta 8.5$ （対前期比 $\Delta 5.7$ 悪化）

産業全体景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
28年7月～9月		$\Delta 24.1$ 		$\Delta 20.8$ 		$\Delta 13.3$ 
28年10月～12月		$\Delta 16.3$ 		$\Delta 18.1$ 		$\Delta 11.9$ 
29年1月～3月		$\Delta 24.4$ 		$\Delta 20.4$ 		$\Delta 14.2$ 
29年4月～6月		$\Delta 9.1$ 		$\Delta 15.7$ 		$\Delta 2.8$ 
29年7月～9月 （見通し）		$\Delta 13.5$ 		$\Delta 16.4$ 		$\Delta 8.5$ 

2 業種別景況

(1) 製造業

製造業は売上額D I、資金繰りD Iが大幅に改善

製造業では、売上額D Iが△2.9、採算D Iが△11.5、資金繰りD Iが0.0となり、対前期比でそれぞれ37.0ポイント、2.8ポイント、20.6ポイント好転した。

前期は、すべての指標が悪化したが、今期は、売上額D I、資金繰りD Iが2ケタのプラスとなった。

売上額D I、採算D I、資金繰りD Iともに、平成27年4～6月期より、四半期ごとに好転、悪化を繰り返している。

次期は、売上額D I、採算D Iが引き続き上昇する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △2.9 (対前期比 37.0 好転) 次期予想 5.9 (対前期比 8.8 上昇)
- ・採算D I △11.5 (対前期比 2.8 好転) 次期予想 △8.8 (対前期比 2.7 上昇)
- ・資金繰りD I 0.0 (対前期比 20.6 好転) 次期予想 0.0 (対前期比 0.0 横這)

製造業景況天気図

時 期	売上額D I			採算D I			資金繰りD I		
28年 7月～9月		△20.0			△27.2			△14.7	
28年 10月～12月		△19.5			△11.7			△8.3	
29年 1月～3月		△39.9			△14.3			△20.6	
29年 4月～6月		△2.9			△11.5			0.0	
29年 7月～9月 (見通し)		5.9			△8.8			0.0	

(2) 建設業

建設業は売上額D I、採算D Iが大幅に改善

建設業では、売上額D Iが△12.5、採算D Iが△16.7、資金繰りD Iが△13.1となり、対前期比でそれぞれ12.5ポイント、12.5ポイント、3.6ポイント好転した。売上額D I、採算D Iは2ケタのプラスとなった。

前期は、すべての指標が2ケタのマイナスとなったが、今期は、大幅に改善した。資金繰りD Iは3期ぶりに好転した。

次期は、すべての指標が大幅に悪化する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △12.5 (対前期比 12.5 好転) 次期予想 △33.3 (対前期比 △20.8 悪化)
- ・採算D I △16.7 (対前期比 12.5 好転) 次期予想 △33.3 (対前期比 △16.6 悪化)
- ・資金繰りD I △13.1 (対前期比 3.6 好転) 次期予想 △26.1 (対前期比 △13.0 悪化)

建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
	天気	値	天気	値	天気	値
28年7月～9月		0.0		0.0		9.1
28年10月～12月		8.4		4.2		4.4
29年1月～3月		△25.0		△29.2		△16.7
29年4月～6月		△12.5		△16.7		△13.1
29年7月～9月 (見通し)		△33.3		△33.3		△26.1

(3) 小売業

小売業は売上額D I、資金繰りD Iが好転

小売業では、売上額D Iが△29.1、資金繰りD Iが△8.2となり、対前期比でそれぞれ7.0ポイント、10.5ポイント好転した。採算D Iは△30.6となり、対前期比で5.1ポイント低下し、2期連続の減少となった。

前期は、すべての指標が悪化したが、今期は、売上額D I、資金繰りD Iが大きく改善した。特に、資金繰りD Iは2ケタのプラスとなった。

次期は、採算D Iが好転する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △29.1 (対前期比 7.0 好転) 次期予想 △32.6 (対前期比 △3.5 悪化)
- ・採算D I △30.6 (対前期比 △5.1 低下) 次期予想 △25.0 (対前期比 5.6 好転)
- ・資金繰りD I △8.2 (対前期比 10.5 好転) 次期予想 △20.8 (対前期比 △12.6 悪化)

小売業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
28年 7月～9月		△44.9 		△32.7 		△22.4 
28年 10月～12月		△20.9 		△18.3 		△10.2 
29年 1月～3月		△36.1 		△25.5 		△18.7 
29年 4月～6月		△29.1 		△30.6 		△8.2 
29年 7月～9月 (見通し)		△32.6 		△25.0 		△20.8 

(4) サービス業

サービス業は2期連続ですべての指標が上昇

サービス業では、売上額D Iが2.8、採算D Iが△7.1、資金繰りD Iが2.9となり、対前期比でそれぞれ11.3ポイント、10.0ポイント、10.1ポイント上昇した。すべての指標が2ケタのプラスとなり、2期連続で上昇した。

売上額D Iと採算D Iは平成28年4～6月期から3期連続で、資金繰りD Iは平成28年7～9月期から2期連続で低下していたが、前期から2期連続で大幅な改善となり、売上額D Iと資金繰りD Iはプラスの数値となった。

次期は、すべての指標が悪化に転じるが、マイナスは小幅にとどまる見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I 2.8 (対前期比 11.3 上昇) 次期予想 △2.8 (対前期比 △5.6 悪化)
- ・採算D I △7.1 (対前期比 10.0 上昇) 次期予想 △8.4 (対前期比 △1.3 悪化)
- ・資金繰りD I 2.9 (対前期比 10.1 上昇) 次期予想 1.5 (対前期比 △1.4 悪化)

サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
28年7月～9月		△19.0 		△16.2 		△13.2 
28年10月～12月		△20.0 		△28.6 		△20.3 
29年1月～3月		△8.5 		△17.1 		△7.2 
29年4月～6月		2.8 		△7.1 		2.9 
29年7月～9月 (見通し)		△2.8 		△8.4 		1.5 

3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製造業	5.7%	生産設備、その他	5.7%	土地、工場建物 生産設備
建設業	4.2%	車両運搬具	12.5%	建設機械、車両運搬具 付帯施設
小売業	4.1%	その他	6.1%	車両運搬具、OA機器 その他
サービス業	12.7%	建物、サービス 車両運搬具、付帯施設 OA機器、その他	11.3%	建物、サービス 車両運搬具、付帯施設 OA機器、その他

4 経営上の問題点

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	需要の停滞	33.3%
	2位	生産設備の不足・老朽化	21.2%
	3位	製品ニーズの変化	15.2%
建設業	1位	大企業の進出による競争の激化	14.3%
		請負単価の低下、上昇難	
		熟練技術者の確保難	
		官公需要の停滞	
		民間需要の停滞	
		その他	
小売業	1位	需要の停滞	21.7%
	2位	購買力の他地域への流出	19.6%
	3位	大型店・中型店の進出による競争の激化	17.4%
		消費者ニーズの変化	
サービス業	1位	需要の停滞	25.9%
	2位	利用者ニーズの変化	22.4%
	3位	店舗施設の狭隘・老朽化	13.8%

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

平成29年4月から6月の第1四半期を対象とし、調査時点は平成29年6月1日。

(2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内180企業。(内訳：製造業35企業、建設業25企業、小売業49企業、サービス業71企業)。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD Iとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0～△60.1	 曇 △ 60.0～△20.1	 薄曇 △ 20.0～20.0	 晴れ 20.1～60.0	 快晴 60.1～100.0
---	---	---	---	--

平成29年6月29日作成

愛知県商工会連合会 広域経営支援センター

TEL : 052-562-0041